

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	国際こども・福祉カレッジ
設置者名	学校法人 国際総合学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
教育・社会福祉専門課程	こども保育学科 保育士コース	夜・通信	28 単位	6 単位	
	こども保育学科 保育士・幼稚園教諭コース	夜・通信	33 単位	6 単位	
	こども福祉教育学科	夜・通信	27 単位	9 単位	
	こども未来教育学科	夜・通信	24 単位	12 単位	
	福祉健康サポート学科 (旧名称：介護福祉学科)	夜・通信	81 単位	6 単位	
	福祉心理学科	夜・通信	81 単位	12 単位	
	医療福祉マネジメント学科	夜・通信	30 単位	6 単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

URL https://www.wm-c.ac.jp/publicinfo/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名 (無し)
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・**学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。**これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	国際こども・福祉カレッジ
設置者名	学校法人 国際総合学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

URL <https://www.wm-c.ac.jp/publicinfo/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員	2019年6月1日～2023年5月31日	教育統括的観点
非常勤	大学教授	2019年6月1日～2023年5月31日	教育統括的観点
非常勤	団体職員	2020年3月31日～2023年5月31日	政策的観点
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	国際こども・福祉カレッジ
設置者名	学校法人 国際総合学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>毎年11月～12月、学科長及び教務部長が各学科の次年度カリキュラムを作成し、科目ごとのシラバス作成を担当講師に依頼する。</p> <p>さらに教育課程編成委員会(年間2回以上開催)において福祉業界全体の動向や現場での最新状況を各委員より情報提供いただき、在校生の現状等を踏まえて教育課程に関わる改善点として学科ごとのカリキュラムや授業の方法、シラバスなどについて意見を伺い、カリキュラムやシラバスの作成に活かしている。</p> <p>3月には次年度のシラバスをホームページで一般公開し、新入生・進級生に対しては4月初旬のオリエンテーションにおいてシラバス閲覧方法を改めてインフォメーションする。</p>	
授業計画書の公表方法	URL https://www.wm-c.ac.jp/publicinfo/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は原則各科目終了時に実施 ・成績評価内容は試験、レポート、授業態度等 ・成績評価基準、2019年度以降の入学生はS(100～90点)、A(89～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59～0点)、2018年度以前の入学生はA(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59～0点) <p>科目終了時に当該科目の出席率が80%以上ない者は考査の対象とならずD評価となり追試を受験しなければならない。追試不合格の場合は進級・卒業時に認定試験を受験し、合格しなければ当該科目の単位は与えられない。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>客観的な成績指標として、個人ごとに履修科目の成績評価を100満点で点数化し、全評価科目の平均点を算出します(不合格科目も含む)。その際、成績評価が素点で出されている科目はその素点を、S～D評価で出されている科目は次の点数に換算します。</p> <p>2019年度以降の入学生：S(100点)、A(85点)、B(75点)、C(65点)、D(50点)</p> <p>2018年度以前の入学生：A(90点)、B(75点)、C(65点)、D(50点)</p> <p>その全評価科目の平均点を用いて学科学年別に成績の分布状況を把握します。</p> <p>成績指標と分布結果は、学期末に表彰される成績優秀者の選定や学習指導、進路選択や進級時特待生選考の指標の一つにも活用されます。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>URL https://www.wm-c.ac.jp/publicinfo/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>【ディプロマポリシー】 本校では以下のような能力を身につけ、かつ学科ごとの卒業単位を修得した学生に対して卒業を認定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まごころと豊かな人間性を持ち、他者を援助できる人 ・やさしく・安心できる地域社会の構築ができる人 ・国際社会で活躍できる人 <p>【卒業判定の手順】 2月の卒業判定会議において、学校長、教務部長、事務局長により各学生の卒業の可否を判定する。判定基準は年間出席率が90%以上あることと、学科ごとの卒業単位を満たしていること、学費等の納入状況である。</p> <p>【学科ごとの卒業単位】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども保育学科 79単位 ・こども福祉教育学科 96単位 ・こども未来教育学科 147単位 ・福祉健康サポート学科 100単位 ・福祉心理学科 180単位 ・医療福祉マネジメント学科 101単位 	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>URL https://www.wm-c.ac.jp/publicinfo/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	国際こども・福祉カレッジ
設置者名	学校法人 国際総合学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.wm-c.ac.jp/publicinfo/
収支計算書又は損益計算書	https://www.wm-c.ac.jp/publicinfo/
財産目録	https://www.wm-c.ac.jp/publicinfo/
事業報告書	https://www.wm-c.ac.jp/publicinfo/
監事による監査報告（書）	https://www.wm-c.ac.jp/publicinfo/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉 専門課程	こども保育学科 保育士コース（単位制）	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	79 単位時間／単位	57 単位時間 ／単位	38 単位時間 ／単位	10 単位時間 ／単位	1 単位時間 ／単位	
			106 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		13人	人	8人の内数	23人の内数	31人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>毎年11月～12月、学科長及び教務部長が各学科の次年度カリキュラムを作成し、科目ごとのシラバス作成を担当講師に依頼する。</p> <p>さらに教育課程編成委員会（年間2回以上開催）において福祉業界全体の動向や現場での最新状況を各委員より情報提供いただき、在校生の現状等を踏まえて教育課程に関わる改善点として学科ごとのカリキュラムや授業の方法、シラバスなどについて意見を伺い、カリキュラムやシラバスの作成に活かしている。</p> <p>3月には次年度のシラバスをホームページで一般公開し、新入生・進級生に対しては4月初旬のオリエンテーションにおいてシラバス閲覧方法を改めてインフォメーションする。</p>

成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は原則各科目終了時に実施 ・成績評価内容は試験、レポート、授業態度等 ・成績評価基準はS (100～90点)、A (89～80点)、B (79～70点)、C (69～60点)、D (59～0点) <p>科目終了時に当該科目の出席率が80%以上ない者は考査の対象とならずD評価となり追試を受験しなければならない。追試不合格の場合は進級・卒業時に認定試験を受験し、合格しなければ当該科目の単位は与えられない。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>【ディプロマポリシー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まごころと豊かな人間性を持ち、他者を援助できる人 ・やさしく・安心できる地域社会の構築ができる人 ・国際社会で活躍できる人 <p>【卒業判定の手順】</p> <p>2月の卒業判定会議において、学校長、教務部長、事務局長により各学生の卒業の可否を判定する。判定基準は年間出席率が90%以上あることと、学科ごとの卒業単位を満たしていること、学費等の納入状況である。</p> <p>【卒業単位】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・79単位
学修支援等
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別相談・個別指導等の対応

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
16人 (100%)	0人 (0%)	12人 (75%)	4人 (25%)
(主な就職、業界等) 保育所、放課後等デイサービス、障害者施設			
(就職指導内容) ・就職実務 (履歴書の書き方や面接練習など) ・模擬面接 など			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 保育士資格、児童厚生2級指導員、音楽能力検定、認定病児保育スペシャリスト おもちゃインストラクター、社会人常識マナー検定			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
24人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談、保護者との連携、教務会等での状況共有、スクールカウンセラーからの面談、基礎学力の向上のための補講 など		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉 専門課程	こども保育学科 保育士・幼稚園教諭コース (単位制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	79 単位時間/単位	58 単位時間 /単位	38 単位時間 /単位	14 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1 単位時間 /単位
			111 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		59人	人	8人の内数	23人の内数	31人の内数	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>毎年11月～12月、学科長及び教務部長が各学科の次年度カリキュラムを作成し、科目ごとのシラバス作成を担当講師に依頼する。</p> <p>さらに教育課程編成委員会(年間2回以上開催)において福祉業界全体の動向や現場での最新状況を各委員より情報提供いただき、在校生の現状等を踏まえて教育課程に関わる改善点として学科ごとのカリキュラムや授業の方法、シラバスなどについて意見を伺い、カリキュラムやシラバスの作成に活かしている。</p> <p>3月には次年度のシラバスをホームページで一般公開し、新入生・進級生に対しては4月初旬のオリエンテーションにおいてシラバス閲覧方法を改めてインフォメーションする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は原則各科目終了時に実施 ・成績評価内容は試験、レポート、授業態度等 ・成績評価基準はS(100～90点)、A(89～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59～0点) <p>科目終了時に当該科目の出席率が80%以上ない者は考査の対象とならずD評価となり追試を受験しなければならない。追試不合格の場合は進級・卒業時に認定試験を受験し、合格しなければ当該科目の単位は与えられない。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>【ディプロマポリシー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まごころと豊かな人間性を持ち、他者を援助できる人 ・やさしく・安心できる地域社会の構築ができる人 ・国際社会で活躍できる人 <p>【卒業判定の手順】</p> <p>2月の卒業判定会議において、学校長、教務部長、事務局長により各学生の卒業の可否を判定する。判定基準は年間出席率が90%以上あることと、学科ごとの卒業単位を満たしていること、学費等の納入状況である。</p>

【卒業単位】 ・79 単位
学修支援等
(概要) ・個別相談・個別指導等の対応

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
16 人 (100%)	1 人 (6.2%)	15 人 (93.8%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 保育所、幼稚園、認定こども園			
(就職指導内容) ・就職実務（履歴書の書き方や面接練習など） ・模擬面接 など			
(主な学修成果（資格・検定等）) 保育士資格、幼稚園教諭免許、おもちゃインストラクター、社会人常識マナー検定			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
48 人	2 人	4.2%
(中途退学の主な理由) 精神的な疾患、進路変更など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談、保護者との連携、教務会等での状況共有、スクールカウンセラーからの面談、基礎学力の向上のための補講 など		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉 専門課程	こども福祉教育学科 (単位制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	96 単位時間/単位	50 単位時間 /単位	49 単位時間 /単位	14 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	1 単位時間 /単位
			114 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		38人	人	3人	26人	29人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>毎年11月～12月、学科長及び教務部長が各学科の次年度カリキュラムを作成し、科目ごとのシラバス作成を担当講師に依頼する。</p> <p>さらに教育課程編成委員会(年間2回以上開催)において福祉業界全体の動向や現場での最新状況を各委員より情報提供いただき、在校生の現状等を踏まえて教育課程に関わる改善点として学科ごとのカリキュラムや授業の方法、シラバスなどについて意見を伺い、カリキュラムやシラバスの作成に活かしている。</p> <p>3月には次年度のシラバスをホームページで一般公開し、新入生・進級生に対しては4月初旬のオリエンテーションにおいてシラバス閲覧方法を改めてインフォメーションする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は原則各科目終了時に実施 ・成績評価内容は試験、レポート、授業態度等 ・成績評価基準はS(100～90点)、A(89～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59～0点) <p>科目終了時に当該科目の出席率が80%以上ない者は考査の対象とならずD評価となり追試を受験しなければならない。追試不合格の場合は進級・卒業時に認定試験を受験し、合格しなければ当該科目の単位は与えられない。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>【ディプロマポリシー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まごころと豊かな人間性を持ち、他者を援助できる人 ・やさしく・安心できる地域社会の構築ができる人 ・国際社会で活躍できる人 <p>【卒業判定の手順】</p> <p>2月の卒業判定会議において、学校長、教務部長、事務局長により各学生の卒業の可否を判定する。判定基準は年間出席率が90%以上あることと、学科ごとの卒業単位を満たしていること、学費等の納入状況である。</p>

【卒業単位】 ・96 単位
学修支援等 (概要) ・個別相談・個別指導等の対応

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
20 人 (100%)	1 人 (5%)	18 人 (90%)	1 人 (5%)
(主な就職、業界等) 保育所、幼稚園、認定こども園、児童養護施設			
(就職指導内容) ・就職実務（履歴書の書き方や面接練習など） ・模擬面接 など			
(主な学修成果（資格・検定等）) 保育士資格、幼稚園教諭免許、社会人常識マナー検定、手話技能検定			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
49 人	2 人	4.1%
(中途退学の主な理由) 精神的な疾患、妊娠結婚など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談、保護者との連携、教務会等での状況共有、スクールカウンセラーからの面談、基礎学力の向上のための補講 など		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉 専門課程	こども未来教育学科 (単位制)		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	147 単位時間/単位	88 単位時間 /単位	65 単位時間 /単位	18 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	単位時間 /単位
			171 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
110人		36人	0人	4人	39人	43人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>毎年11月～12月、学科長及び教務部長が各学科の次年度カリキュラムを作成し、科目ごとのシラバス作成を担当講師に依頼する。</p> <p>さらに教育課程編成委員会(年間2回以上開催)において福祉業界全体の動向や現場での最新状況を各委員より情報提供いただき、在校生の現状等を踏まえて教育課程に関わる改善点として学科ごとのカリキュラムや授業の方法、シラバスなどについて意見を伺い、カリキュラムやシラバスの作成に活かしている。</p> <p>3月には次年度のシラバスをホームページで一般公開し、新入生・進級生に対しては4月初旬のオリエンテーションにおいてシラバス閲覧方法を改めてインフォメーションする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は原則各科目終了時に実施 ・成績評価内容は試験、レポート、授業態度等 ・成績評価基準はS(100～90点)、A(89～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59～0点) <p>科目終了時に当該科目の出席率が80%以上ない者は考査の対象とならずD評価となり追試を受験しなければならない。追試不合格の場合は進級・卒業時に認定試験を受験し、合格しなければ当該科目の単位は与えられない。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>【ディプロマポリシー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まごころと豊かな人間性を持ち、他者を援助できる人 ・やさしく・安心できる地域社会の構築ができる人 ・国際社会で活躍できる人 <p>【卒業判定の手順】</p> <p>2月の卒業判定会議において、学校長、教務部長、事務局長により各学生の卒業の可否を判定する。判定基準は年間出席率が90%以上あることと、学科ごとの卒業単位を満たしていること、学費等の納入状況である。</p>

【卒業単位】 ・147 単位
学修支援等 (概要) ・個別相談・個別指導等の対応

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
6 人 (100%)	0 人 (0%)	6 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 保育所、幼稚園、認定こども園、小学校			
(就職指導内容) ・就職実務（履歴書の書き方や面接練習など） ・模擬面接 など			
(主な学修成果（資格・検定等）) 保育士資格、幼稚園教諭免許、小学校教諭免許、養護教諭免許、社会人常識マナー検定			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
32 人	2 人	6.3%
(中途退学の主な理由) 精神的な疾患、妊娠結婚など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談、保護者との連携、教務会等での状況共有、スクールカウンセラーからの面談、基礎学力の向上のための補講 など		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉 専門課程	福祉健康サポート学科 【旧名称：介護福祉学科】 (単位制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	100 単位時間/単位	77 単位時間 /単位	17 単位時間 /単位	10 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			104 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		22人	0人	4人	6人	10人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>毎年11月～12月、学科長及び教務部長が各学科の次年度カリキュラムを作成し、科目ごとのシラバス作成を担当講師に依頼する。</p> <p>さらに教育課程編成委員会(年間2回以上開催)において福祉業界全体の動向や現場での最新状況を各委員より情報提供いただき、在校生の現状等を踏まえて教育課程に関わる改善点として学科ごとのカリキュラムや授業の方法、シラバスなどについて意見を伺い、カリキュラムやシラバスの作成に活かしている。</p> <p>3月には次年度のシラバスをホームページで一般公開し、新入生・進級生に対しては4月初旬のオリエンテーションにおいてシラバス閲覧方法を改めてインフォメーションする。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は原則各科目終了時に実施 ・成績評価内容は試験、レポート、授業態度等 ・成績評価基準はS(100～90点)、A(89～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59～0点) <p>科目終了時に当該科目の出席率が80%以上ない者は考査の対象とならずD評価となり追試を受験しなければならない。追試不合格の場合は進級・卒業時に認定試験を受験し、合格しなければ当該科目の単位は与えられない。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>【ディプロマポリシー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まごころと豊かな人間性を持ち、他者を援助できる人 ・やさしく・安心できる地域社会の構築ができる人 ・国際社会で活躍できる人 <p>【卒業判定の手順】</p> <p>2月の卒業判定会議において、学校長、教務部長、事務局長により各学生の卒業の可否を判定する。判定基準は年間出席率が90%以上あることと、学科ごとの卒業単位を満たしていること、学費等の納入状況である。</p>

【卒業単位】 ・100 単位
学修支援等 (概要) ・個別相談・個別指導等の対応

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
9 人 (100%)	1 人 (11.1%)	7 人 (77.8%)	1 人 (11.1%)
(主な就職、業界等) 特別養護老人ホーム、老人保健施設などの高齢者施設			
(就職指導内容) ・就職実務（履歴書の書き方や面接練習など） ・模擬面接 など			
(主な学修成果（資格・検定等）) 介護福祉士（国家試験合格率 100%）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15 人	1 人	6.7%
(中途退学の主な理由) 身体的・精神的な疾患、進路変更など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談、保護者との連携、教務会等での状況共有、スクールカウンセラーからの面談、基礎学力の向上のための補講 など		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉 専門課程	福祉心理学科 (単位制)		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	180 単位時間/単位	136 単位時間 /単位	52 単位時間 /単位	8 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			196 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
125人		57人	0人	2人	4人	6人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>毎年11月～12月、学科長及び教務部長が各学科の次年度カリキュラムを作成し、科目ごとのシラバス作成を担当講師に依頼する。</p> <p>さらに教育課程編成委員会(年間2回以上開催)において福祉業界全体の動向や現場での最新状況を各委員より情報提供いただき、在校生の現状等を踏まえて教育課程に関わる改善点として学科ごとのカリキュラムや授業の方法、シラバスなどについて意見を伺い、カリキュラムやシラバスの作成に活かしている。</p> <p>3月には次年度のシラバスをホームページで一般公開し、新入生・進級生に対しては4月初旬のオリエンテーションにおいてシラバス閲覧方法を改めてインフォメーションする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は原則各科目終了時に実施 ・成績評価内容は試験、レポート、授業態度等 ・成績評価基準はS(100～90点)、A(89～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59～0点) <p>科目終了時に当該科目の出席率が80%以上ない者は考査の対象とならずD評価となり追試を受験しなければならない。追試不合格の場合は進級・卒業時に認定試験を受験し、合格しなければ当該科目の単位は与えられない。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>【ディプロマポリシー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まごころと豊かな人間性を持ち、他者を援助できる人 ・やさしく・安心できる地域社会の構築ができる人 ・国際社会で活躍できる人 <p>【卒業判定の手順】</p> <p>2月の卒業判定会議において、学校長、教務部長、事務局長により各学生の卒業の可否を判定する。判定基準は年間出席率が90%以上あることと、学科ごとの卒業単位を満たしていること、学費等の納入状況である。</p>

【卒業単位】 ・180 単位
学修支援等 (概要) ・個別相談・個別指導等の対応

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
7 人 (100%)	1 人 (14.3%)	6 人 (85.7%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 高齢者施設、障害者施設、児童施設など			
(就職指導内容) ・就職実務（履歴書の書き方や面接練習など） ・模擬面接 など			
(主な学修成果（資格・検定等）) 社会福祉士（国家試験合格率 100%） 精神保健福祉士（国家試験合格率 100%）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
40 人	1 人	2.5%
(中途退学の主な理由) 身体的・精神的な疾患、進路変更など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談、保護者との連携、教務会等での状況共有、スクールカウンセラーからの面談、基礎学力の向上のための補講 など		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉 専門課程	医療福祉マネジメント学科 (単位制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	101 単位時間/単位	81 単位時間 /単位	35 単位時間 /単位	5 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			121 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		8人	0人	1人	5人	6人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>毎年11月～12月、学科長及び教務部長が各学科の次年度カリキュラムを作成し、科目ごとのシラバス作成を担当講師に依頼する。</p> <p>さらに教育課程編成委員会(年間2回以上開催)において福祉業界全体の動向や現場での最新状況を各委員より情報提供いただき、在校生の現状等を踏まえて教育課程に関わる改善点として学科ごとのカリキュラムや授業の方法、シラバスなどについて意見を伺い、カリキュラムやシラバスの作成に活かしている。</p> <p>3月には次年度のシラバスをホームページで一般公開し、新入生・進級生に対しては4月初旬のオリエンテーションにおいてシラバス閲覧方法を改めてインフォメーションする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 成績評価は原則各科目終了時に実施 成績評価内容は試験、レポート、授業態度等 成績評価基準はS(100～90点)、A(89～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59～0点) <p>科目終了時に当該科目の出席率が80%以上ない者は考査の対象とならずD評価となり追試を受験しなければならない。追試不合格の場合は進級・卒業時に認定試験を受験し、合格しなければ当該科目の単位は与えられない。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>【ディプロマポリシー】</p> <ul style="list-style-type: none"> まごころと豊かな人間性を持ち、他者を援助できる人 やさしく・安心できる地域社会の構築ができる人 国際社会で活躍できる人 <p>【卒業判定の手順】</p> <p>2月の卒業判定会議において、学校長、教務部長、事務局長により各学生の卒業の可否を判定する。判定基準は年間出席率が90%以上あることと、学科ごとの卒業単位を満たしていること、学費等の納入状況である。</p>

【卒業単位】 ・101 単位
学修支援等 (概要) ・個別相談・個別指導等の対応

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
1 人 (100%)	人 (%)	1 人 (100%)	人 (%)
(主な就職、業界等) 高齢者施設、障害者施設、児童施設など			
(就職指導内容) ・就職実務（履歴書の書き方や面接練習など） ・模擬面接 など			
(主な学修成果（資格・検定等）) 社会福祉主事任用資格 社会福祉士（国家試験合格率 100%）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由) 身体的・精神的な疾患、進路変更など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談、保護者との連携、教務会等での状況共有、スクールカウンセラーからの面談、基礎学力の向上のための補講 など		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
こども保育学科 保育士コース	50,000 円	560,000 円	628,830 円	その他は、テキスト代、実習費、施設設備費、健康診断料など
こども保育学科 保育士・幼稚園 教諭コース	50,000 円	640,000 円	719,830 円	その他は、テキスト代、実習費、施設設備費、健康診断料など
こども福祉教育 学科	50,000 円	580,000 円	653,310 円	その他は、テキスト代、実習費、施設設備費、健康診断料など
こども未来教育 学科	50,000 円	580,000 円	675,830 円	その他は、テキスト代、実習費、施設設備費、健康診断料など
福祉健康サポ ート学科	50,000 円	590,000 円	619,830 円	その他は、テキスト代、実習費、施設設備費、健康診断料など
福祉心理学科	50,000 円	470,000 円	442,830 円	その他は、テキスト代、実習費、施設設備費、健康診断料など
医療福祉マネジ メント学科	50,000 円	470,000 円	428,830 円	その他は、テキスト代、実習費、施設設備費、健康診断料など
修学支援 (任意記載事項)				
<ul style="list-style-type: none"> ・進級時特待生制度：入学後、学業等において優秀な成績を収めた者に対し、進級時に特待生（学費の全額または一部を給付）として認定します。 ・一人暮らし支援制度：新潟県外や新潟県内遠方在住のため一人暮らしをされる方を対象に年額 12 万円を支給します（定員 20 名をAO面談にて選考）。 				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) URL https://www.wm-c.ac.jp/publicinfo/
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) その時代に求められる専門職者像を常に意識し、学校評価を通じて質の高い教育内容の検討、学生指導方法の改善を行う。そのため卒業生、職能団体（介護福祉士会等）、行政機関、地域住民代表等を構成員とする学校関係者評価委員会（委員定数：3名以上）を設置し、年1回以上定期的に開催する。 評価項目である教育目標や教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、財務、地域貢献等について、学校側から前年度の事業報告及び当年度の事業実施状況報告、さらに学校自己評価についての説明を行ったうえで学校関係者評価委員より質問及び意見交換そして評価を実施する。 学校長は評価結果の内容により学校教務部、事務局あるいは学校法人本部や行政機関、地域住民等と連携を図り、速やかに学校運営や教育内容の改善に活かしていくものとする。

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
古町2番町 町内会 会長	2021年4月1日 ～2022年3月31日	町内会
国際こども・福祉カレッジ 校友会 会長	2021年4月1日 ～2022年3月31日	卒業生
新潟県介護福祉士会 会長	2021年4月1日 ～2022年3月31日	企業等委員
新潟市児童相談所	2021年4月1日 ～2022年3月31日	行政機関
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) URL https://www.wm-c.ac.jp/publicinfo/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) URL https://www.wm-c.ac.jp/
--